

美郷梅酒PR初まつり

特区認定 スイーツ 藤村さん最優秀

吉野川

全国初の梅酒特区に認定された吉野川市美郷地区で28日、「梅酒まつり」が行われ、観光客らが大勢訪れた。美郷の梅酒を広めようと、美郷商工会が初めて企画。メイン会場のふるさとセンターでは、梅酒や梅を使ったお菓子の料理コンテストが行われ、工夫を凝らした品々が披露された。29日も地区内のリキユール製造場、物産館などで梅酒を味わえるイベントがある。

同センターでの「スイー

ツレシピコンテスト」には全国から39点の応募があり、書類選考で選ばれた10点テーブル上に並べられた。地元の人や観光客が見つめる中、県出身の料理研究家・浜内千波さん、川真田哲哉市長ら審査員7人が、一つずつ味わったり、形を見たりして審査した。

いずれも工夫をこらし、斬新な発想のものばかりで審査は難航したが、徳島市八万町の会社員藤村明子さ

ん(26)の「美郷風 カルテット」と名付けられたケーキが、最優秀賞に選ばれた。調理法は、ミルク代わりに梅酒を使ったクレープで梅ジャムを包み、梅ジャムソースをかけ、漬け込んだ梅で飾り付けた。藤村さんは「3回ぐらい作り直しました。選ばれると思っていなかったのでびっくり」と笑顔を見せた。

同地区では、この日の審査に残ったケーキやお菓子を梅酒とともに特産品として販売する予定。同商工会担当者の高木義夫さんは「特産品づくりのアイデアに生かし、地区内のレストランなどで販売できるようにしたい」と話していた。



最優秀賞を受賞したスイーツを手笑顔で見せる藤村さん(ふるさとセンターで)